

経営比較分析表（令和6年度決算）

群馬県 沿田市

事業名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報	人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
法適用	水道事業	簡易水道事業	C1	非設置	43,532	443.46	98.16
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)		現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
-	62.63	43.74	1,540		18,879	197.70	95.49

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】令和6年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率(%) [102.02]

①経常収支比率(%)

期間	当該値	平均値
R02	-	115.45
R03	102.06	110.35
R04	100.66	112.84
R05	103.46	107.13
R06	104.18	107.13
- ②累積欠損金比率(%) [26.96]

②累積欠損金比率(%)

期間	当該値	平均値
R02	-	0.00
R03	0.00	0.00
R04	0.00	0.00
R05	0.00	26.94
R06	26.94	26.94
- ③流動比率(%) [142.39]

③流動比率(%)

期間	当該値	平均値
R02	-	91.30
R03	123.00	111.42
R04	125.28	125.46
R05	142.57	143.29
R06	165.81	143.29
- ④企業債残高対給水収益比率(%) [1,043.36]

④企業債残高対給水収益比率(%)

期間	当該値	平均値
R02	-	419.11
R03	440.36	1,185.66
R04	546.58	1,175.42
R05	546.58	1,156.85
R06	411.57	925.08
- ⑤料金回収率(%) [56.19]

⑤料金回収率(%)

期間	当該値	平均値
R02	-	74.27
R03	61.94	73.13
R04	52.90	63.05
R05	44.98	51.05
R06	58.97	71.88
- ⑥給水原価(円) [285.60]

⑥給水原価(円)

期間	当該値	平均値
R02	-	207.64
R03	124.77	210.89
R04	136.10	246.59
R05	139.59	235.43
R06	133.68	235.43
- ⑦施設利用率(%) [48.33]

⑦施設利用率(%)

期間	当該値	平均値
R02	-	55.94
R03	73.40	57.67
R04	72.48	54.91
R05	73.64	57.38
R06	70.27	57.38
- ⑧有収率(%) [70.34]

⑧有収率(%)

期間	当該値	平均値
R02	-	77.71
R03	86.76	73.67
R04	86.81	72.60
R05	80.31	73.58
R06	89.98	73.58

2. 老朽化の状況について

- 上昇傾向にあり、施設の老朽化が進行していることを示している。法定耐用年数に近づいた資産が増加しており、将来的な更新需要は避けられない状況にある。
- 低い水準にあるが、老朽した管路の漏水が年々増加している。漏水リスクや事故発生リスクを抑制するため、計画的な管路更新が必要である。
- 低い水準であり、老朽化の進行に更新が追いついていない。今後は将来世代に過度な負担を先送りしないよう、優先順位を明確にした更新計画の見直しが必要である。

全体総括

本事業は、経常収支比率が100%を上回り、一定の経営の健全性を維持している。料金回収率について、令和6年度は水道料金本料金減免を実施していないため、給水収益が増加し料金回収率が回復したが、企業債残高の負担が中長期的な課題となる。

また、有形固定資産減価償却率や管路経年化率の上昇から施設の老朽化が着々と進行しており、更新需要の増加が避けられない状況にある。現状の管路更新率では、将来への負担の先送りにつながるおそれがあるため、計画的な更新が課題である。

今後は、経営戦略の定期的な見直しを行うと共に水道料金の改定、施設更新の優先順位付けや造正化を進めることによる、併せて、施設の共同利用や維持管理の地域化等についても検討を進めてることで、持続可能な事業運営を目指していく必要がある。

